

# 高校改革 ～夢に挑戦する学び～

長野県教育委員会事務局  
高校改革推進参与  
内堀繁利

## I これからの子どもたちが生きていく時代・社会

グローバル化の加速

少子化・超長寿命化

A I ・ロボットの発達

高度情報化社会  
超スマート社会

変化の激しい時代

正解のない時代

知識を蓄えることも大事だが、それだけでは不十分。課題を発見する力、自ら考え、判断し、行動する力、他者と協働して納得解に辿り着く力など、「新たな社会を創造する力」が必要不可欠

### 学校教育が行うべきこと

新時代の「育てたい力」の明確化と育成  
(新しい「学力観」に基づく)

そのための、新しい「学び」と  
多様な「学びの場」と  
多様な「学びの仕組み」の創造

## 今日の話題

I これからの子どもたちが生きていく時代・社会

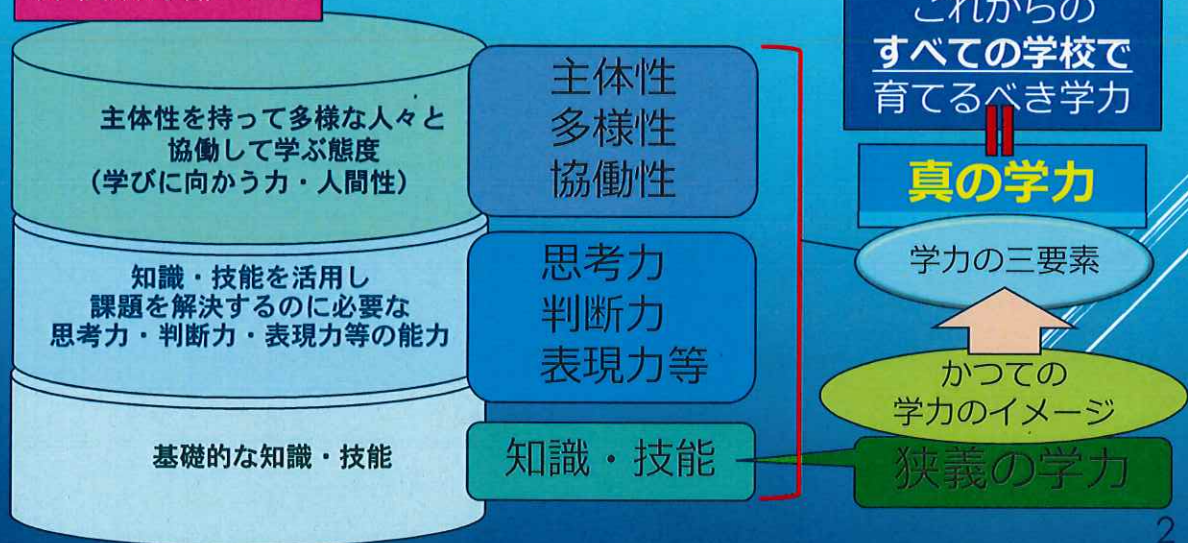
II これからを生きる子どもたちに育てたい力

III 「育てたい力」を育てるための県教委の方策  
(新しい「学び」と、多様な「学びの場」「学びの仕組み」の創造)

IV むすびに

## II これからを生きる子どもたちに育てたい力 (1)

国（文部科学省）ベース



## II これからを生きる子どもたちに育てたい力 (1)

国（文部科学省）ベース

学力の三要素

**真の学力**



高大接続システム改革（大学入試改革）

小・中・高 新学習指導要領

児童生徒指導要録記載の評価 ……

高校入試改革  
をはじめ長野  
県も同様



国の改革・施  
策はすべてこ  
の学力観に基  
づいている

3

## II これからを生きる子どもたちに育てたい力 (2)

県教委（「高校改革～夢に挑戦する学び 実施方針」ベース）

- ・自ら立てた問いに対し、チームとして協働しながら解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していく資質・能力
- ・「一度しかない人生を自分はどう生きたいか」という自分の人生を構想する力（キャリアデザイン力）
- ・信州に根ざした確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力

4

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

#### 1 県教委『高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針』から <「新たな学び」と「新たな学校づくり」を一体的推進>

6本の柱

##### ○新たな学びへの転換

- ・探究的な学びの推進
- ・学校ごとに3つの方針の策定と運用  
 (生徒育成方針、教育課程編成・実施方針、  
 生徒募集方針)
- ・高校入試制度改革 など

##### ○多様な学びの場、学びの仕組みの 整備充実

- ・新しいタイプの学校の充実拡大
- ・多部制単位制の充実拡大・通信制の改革
- ・モデル校(研究校・実践校)指定・実践研究
- ・ICT(EdTech)積極的活用
- ・高校間連携・高大連携推進 など

##### ○新たな学びにふさわしい環境の整備

- ・学習環境・生活環境の整備  
 (空調設備、洋式トイレなど)  
 ⇒さらに「学習空間デザイン検討委員会」
- ・ICT環境の整備充実  
 (電子黒板、タブレット等の導入推進) など

##### ○少子化の進行への的確な対応

##### ○多様な学びの場を全県に適切に配置

##### ○地域の検討を受け再編整備計画策定

5

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

#### 2 新しい「学び」の創造

##### (1) 「探究的な学び」の導入

##### 「主体的・対話的で深い学び」

##### ○課題探究活動の導入

課題設定 ⇨ 情報収集 ⇨ 整理・分析 ⇨ まとめ・表現

##### ○授業：一方的講義 ⇒ 自立的・主体的学び+協同的学び

##### ○特別活動：HR、生徒会、部活動等全ての活動を探究的に

6



### III 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

#### 2 新しい「学び」の創造

##### (2) 「個別最適な学び」の導入

EdTech (Education + Technology) の活用



- BYOD  
(1人1台の  
タブレットで)
- 学習ソフト用い  
自分のペースで
- 学習履歴を  
チェックしつつ
- いつでも  
どこでも



経産省「未  
来の教室」  
事業と連携

遠隔通信や  
配信授業の繰り  
返し視聴も可能

学校では  
「自立的学び」+  
「協同的学び」  
(教え合い・学び合い)

7

### III 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

#### 2 新しい「学び」の創造 まとめ



8

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

## 3 多様な「学びの場」の創造

### (1) 「様々なタイプの学校」を設置 1

これまで

普通科 専門学科（農工商家福）  
 特色学科（理数・英語・国際）  
 総合学科 総合技術高校  
 定時制／多部制単位制  
 通信制 特別支援学校分教室  
 スポーツ科 音楽科 探究科 国際観光科

これから

- 普通科含めすべての高校で3つの方針の策定、  
**特色化・魅力化**
- 総合学科・総合技術高校の充実拡大**
- 多部制単位制高校の充実拡大**
- 通信制の改革**

9

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

## 2 多様な「学びの場」の創造

### (1) 「様々なタイプの学校」を設置 2

- （例）通信制の改革の具体像

これまで

これから

自由度とサポートの両面を拡充

教科書を自学自習 週1回程度の通学  
 出席＋課題提出＋試験⇒単位認定

- EDTECHを活用した「個別最適な学び」  
 （ネット講義視聴、学習履歴表示、マイペース、遠隔通信等）
- 希望により毎日登校も可能
- 「探究的な学び（探究活動）」の導入
- 社会や人とのつながりも重視

10

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の方策

## 2 多様な「学びの場」の創造

先の、さらにその先へ

### (2) 「研究校の指定」⇒先進的・先端的学びを追求

#### スーパー探究校

医療・企業等、各分野の最先端と連携、卓越した探究を通じ、広い視野・研究意欲等を育成

#### 信州グローバル ハイスクール

大学・自治体等と連携、世界と地域課題をつなげ、社会変革力、新たな価値を生み出す資質等を育成

#### 国際カリキュラム ム研究校

理念・仕組みを研究、グローバル時代のカリキュラムと海外大学進学プログラムを開発

SSH, SGH  
4校に加え、新たに  
国のモデル校指定(地  
域協働3校)

#### 高度産業教育 推進校

企業等と連携、卒業後まで一貫したプログラムを開発、高度な専門性、地方創生力を育成

#### 少人数学級 研究校

学級規模を縮小、生徒数に応じた指導の在り方・教育効果、学校運営上のメリットを研究

#### その他

現代の教育課題解決に向け、既存の発想にとらわれず、多様で柔軟な学びの仕組みを創造

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

## 3 多様な「学びの仕組み」の創造

旧来の「学校」の枠に  
囚われない

### (1) 高校間連携等

- ・他校の授業に出席(単位認定)
- ・数校が一緒になって合同授業
- ・教員が他校授業を相互に担当

- ・遠隔通信により、他校の授業を自校で聴講(単位認定)/他校の生徒と協同学習

- ・学校外の学修(検定試験・ボランティアに加え、自分で立てた学習計画も)を積極的に単位認定

- ・夢の実現に向け、生徒の状況により、従前より容易に他校へ転校できる仕組みを研究

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

## 3 多様な「学びの仕組み」の創造

### (2) 大学や企業・地域との連携

大学の授業を直接または遠隔通信により受講、大学の施設を利用

大学生やNPO等が校内外で探究活動を継続的にサポート

専門高校に加え、普通高校へのデュアルシステムの導入を検討

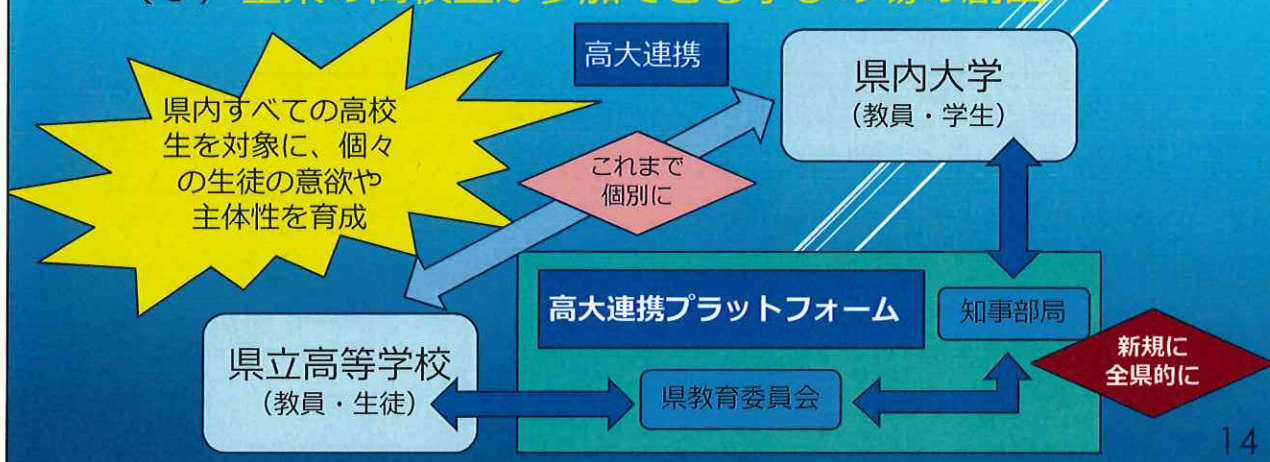
自治体や企業と連携し、高校生のアイデアを施策化、商品化

13

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

## 3 多様な「学びの仕組み」の創造

### (3) 全県の高校生が参加できる学びの場の創出



14



### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

#### 3 多様な「学びの仕組み」の創造

##### (4) 全県の高校生が参加できる発表の場・目標の創出

自分のプロジェクトに、他者と協働しながら、主体的意欲的に取り組んでいる生徒たちの「物語」の発表の場



直接全国大会につながる

**長野県大会  
実施決定！**

12/15

想いや好きをカタチ  
にしようとしている  
県内高校生を応援

15

### Ⅲ 「育てたい力」を育てるための県教委の施策

#### 3 多様な「学びの仕組み」の創造

##### (5) 全県の高校生に対する海外留学支援制度の創出

#### 信州つばさプロジェクト（海外での学び推進事業）

##### ○県企画プロジェクト



台湾、東南アジア、オーストラリアへ65人（経費1/3補助）

##### ○個人留学支援

長期留学10人、短期留学等90人（地域と期間で定額補助）

16

## Ⅳ むすびに ～これからの学校・これからの学び

### 「生徒一人ひとり（の学び）を本当に大切にする」の徹底追究

生徒個々が自分のペースで行う、生徒主体の「学び」

生徒自身の「リアル」から始まる「学び」

- ◆ 興味関心や身近な課題意識からスタートし、必要な知識を習得する逆方向の学び
- ◆ 学びと学ぶ意味がリンクする、ワクワク感のあるリアルな学び

- ◆ EdTech, 自立的学び等による個別最適で主体的な学び
- ◆ BYOD, ネット活用等による、いつでもどこでも学べる環境
- ◆ 教員の役割は、ティーチャー（教授者）からファシリテーター（調整促進者）・伴走者へ

社会と一体的で、多様な人々と協同する「学び」

- ◆ 学校、地域や社会などすべてが学びのフィールド、校内外のすべての人が学びの協同者
- ◆ 社会課題の解決に向かう「探究的な学び」「信州学」、PBL

多様性を受容し失敗を許容する環境

- ◆ 哲学対話によるあり方・生き方の省察
- ◆ 同調圧力の排除

17

## 大人の一歩の役割

次代に生き、次代を担う子どもたちが、これからの時代を生きる力、新しい社会を創っていく力を身に付けられるような環境を整備すること

今回の高校改革の目的

どうぞよろしくをお願いします

18

